



植西一彦さん
(信楽町杉山)

1200年の伝統行事を支える

春の訪れを告げる風物詩として3月に行われる奈良東大寺二月堂の「お水取り」、1200年以上続くこの伝統行事、二月堂の舞台で火のついた松明を振り回す「お松明」を見ようと、毎年全国から多くの人を訪れます。

ここで使われる籠松明には、甲賀市内の河川敷などで集められた葛のつるが使われています。明治9年に信楽のつるが使われたという記録があり、紫香楽宮との関係も考えられています。

このつるは信楽町の「江州一心講」の皆さんの手によって集められています。その中の一人、参加して20年余りになる植西一彦さん。毎年この季節、つる集めに奔走されています。

寒暖の差が激しいと、折れにくいつるができるため、甲賀のつるは松明の縛る部材に適しているとのことですが、近年は、つるそのものが少なくなり、調達が難しくなってきたそうです。

「毎年、夏頃から、いろんなところを探し、見つけているのですが、冬までに刈り取られてしまうところもあります。毎年この時期はドキドキです。」と話す植西さん。メンバーの高齢化などもあり、採取にはかなりの困難が付きまといまふ。今年初めて生育場所の情報と採取のボランティアの募集もされました。



▲草の中からの採取は一苦勞

「今年、1258回目のお水取りを迎えることになりましたが、つるがなければ行うことはできません。奈良時代から続いてきた伝統ある行事を私たちが途切れさす訳にはいきません。苦勞も多いですが、多くの人に感動を与える伝統行事の一翼を担っていければと思います」と植西さん。

今年も甲賀のつるが、伝統行事を支えます。

寒風を吹き飛ばす力走

第5回甲賀市民駅伝、09小学生駅伝・マラソン

寒

風吹く1月18日、土山体育館前を発着点とするあいの土山マラソン公認コースで、甲賀市民駅伝と小学生駅伝・マラソンが行われました。9区間40・3キロを走る市民駅伝には、7チーム、63人が、4区間(8・0キロ)を走る小学生駅伝には、26チーム104人が参加、寒さ厳しい中、沿道からの熱い声援を受け、メンバーへたすきをつなぎ、ゴールをめざしました。また、2キロのコースで競う小学生マラソンも行われ、それぞれがベストを尽くし精一杯走り抜きました。



▲全力を尽くしてラストスパート(小学生マラソン)

主な結果(敬称略)

- 市民駅伝
 - 1位 水口A
 - 2位 土山
 - 3位 甲南
- 小学生駅伝
 - 1位 甲賀JAC・A
 - 2位 伴谷小A
 - 3位 水口サンボーイズ

- 【男子】
 - 1位 畷 貴広
 - 2位 谷川 拓海
 - 3位 川口 征純
- 【女子】
 - 1位 小西 萌慧
 - 2位 谷永 悠季
 - 3位 今井 佑香



▲熱戦のスタート(市民駅伝)

笑い、感動、絵本ワールドに魅了

絵本ライブ・甲南中部・希望ヶ丘小学校

1月14日・15日、甲南中部小学校と希望ヶ丘小学校に、絵本にっぽん賞を受賞され、落語絵本シリーズなどで著名な絵本作家川端誠さんが来校、開き読みライブが行われました。市内で活動される読書グループ「おはなしたまてばこ」の方が、川端さんのライブを実際に観て感激し、働きかけて実現したこのライブ。川端さんのおもしろおかしい開き読みに、あつという間に絵本の世界に引き込まれた児童。笑いあり、感動ありの楽しい時間をすごし、絵本の楽しさをたっぷり味わうことができました。



▲熱心に聞き入る児童

見守ってくれてありがとう

「はんどろ忍者」から門松届く・貴生川幼稚園

年が明け、貴生川幼稚園に登園する園児たち、目の前に置かれた立派な門松にびっくり。今年も貴生川幼稚園に、「はんどろ忍者」から門松が届きました。地域の方が扮するはんどろ忍者から、子どもたちの安全を願い贈られる門松、今年で13回目を迎えます。毎年、この門松とともに貴生川幼稚園の楽しい1年間が始まります。1月8日、園児たちは、お礼を言おうと玄関に集合、門松の前から、飯道山のはんどろ忍者に大きな声でお礼を言いました。園児たちの声は、きつと届き、そして今年もはんどろ忍者が園児を守ってくれることでしょう。



▲「忍者さんありがとう」、はんどろ忍者にお礼をいう園児

幽玄の世界を体験

本物の舞台芸術体験・油日小学校

1月20日、油日小学校で、実際に能を体験する、「本物の舞台芸術体験」が行われました。能は、継承されている演劇としては世界最古といわれ、世界無形遺産に指定され、国際的にも有名な伝統芸能です。この日は、本物の能楽師が来校、普段なかなか見ることができない本格的な芸術を体験しました。謡のおけいこでは、能楽師の指導で、代表的な作品の一つ「高砂」を、児童全員が謡いました。また、舞躰子を共演したり、貴重な能面を実際に身に付けたりと、まさに本物の芸術に身近に触れることができ、その素晴らしさを知ることができました。最後には、能「土蜘蛛」を鑑賞、優雅な動きと迫力ある声に児童は熱中、幽玄の世界を堪能しました。



▶舞躰子の共演